

「探究Ⅱ」報告 ～いよいよ佳境にさしかかる～

研究推進部 吉田 究

2年生・知の探究コース「探究Ⅱ」は12月の発表に向けていよいよ佳境で、今週(24日)、教育班のひとグループは前にも来ていただいた兵庫教育大学・大関達也教授から再び指導を受け(②)、先日忙しいときに皆さんにアンケートに協力していただいた我々・環境班は市内にある株式会社クレハさんへフィールドワークに行きました(①)。また、この週末は、私たち環境班は京都府亀岡市で「川から考えるみんなの未来」というシンポジウムに参加しました。(あ、お客さんとしてです。(いえ、意識はもちろん「当事者!」ですが。)。シンポジウムには、紙ストローを早々に導入したスターバックス・ジャパンのサステナビリティチームマネージャーの普川玲さん、前にアンケートで紹介した無料給水アプリ mymizu 代表のマクティア・マリコさん、そして、私たちが前にお話を伺った大阪商業大学の原田禎夫先生らが登壇されました。ネットでの配信も有り。

(<https://www.youtube.com/channel/UCcIIH8pfJKZsZ8fPbru5mZA>)

また、「移住班」もこの日(29日)、【現役高校生に聞く!丹波の暮らし方】というオンラインイベントに参加をしました。(こちらは思いきり「主催者」側!)。移住検討中の方に、丹波での暮らしを語るという企画。主催団体、たんば“移充”テラス「Turn Wave」の案内にも、「全国に移住相談窓口は数あれど「現役高校生」から直接、実体験が聞ける機会はない!？」と紹介されています。

さて、話は戻って、①株式会社クレハさんフィールドワークの報告です。

柏原駅南側にあるクレクラブを作っておられる会社。4名の生徒たちに対し、4名の社員の方々がわざわざ時間を割いてくださり、事前にお送りした質問にも丁寧に答えていただき、とても勉強になりました。

企業としては環境への配慮の他、トレーサビリティ(Traceability:製品だけでなく、それを構成する部品や原材料の流通経路を追跡・確認できる仕組みのこと)にも気を配っているとのことでしたが、使用後のゴミの廃棄については消費者のモラルに委ねるしかなく、不法投棄などは心苦しいと仰っていたのが印象的でした。また、ラップの機密性の高さは食品の品質維持に役立ち、食品ロスを減らすことにも有効かどうかがい、なるほど、そのような視点もあるのかと感心させられました。他の素材の開発などにも力を注いでおられ、ポリグリコール酸などはセルロースと同程度の生分解性で、水と反応することで1箇月で水とCO₂に分解されるのだそうですが、分解のスピードが速すぎてラップには使用できないらしく、努力と可能性、そしてご苦労とを垣間見た思いがしました。何より、自分たちの地元にある企業の取組を知ることができたのが、今回の大きな収穫だったように思います。ありがとうございました!

そして、②教育班、大関先生の講義。私がクレハさんから戻ったのは授業終了間際だったのですが、そのときはまだまだ熱い議論が続いていて、随分授業時間をオーバーした様子。今回の授業は、生徒たちがポスター発表をして助言を戴くというもの。私が見て一番印象的だったのは、授業終了後、生徒らが文字通り頭を抱えながら、「ああ、ほんま分からんようになってきたあ…!」と呟っていた姿。「探究は楽しい?」という大関先生からの問い掛けにもみんな頷いていたし、それらはとても嬉しい場面でした♪関わってくださるすべての皆さんに感謝しつつ、来月の発表に向け、さらにペースアップしていきたいと考えている私たちです。いよいよ佳境。佳境とは、「この上なく良い景色」の意です。



丹 BAL I 「恐竜班」発表 11月25日(水)

「恐竜班」の6班(知探・一般それぞれ3班)が他の班に先駆けて発表を行いました。

クラス内での発表を経験した後、よりよい発表にするために前日の放課後を使って修正を加えていた班もありました。当日の休み時間にも、用意した発表原稿を暗記しようとする姿、流れを確認する姿などが見られました。「緊張するわぁ」という声があるのも、準備した背景がしっかりとあるからかなと思いつつ眺めていました。

1つの班につき、発表、質疑応答、講師からの講評という流れで実施しました。

それぞれの班の発表タイトルは次のとおりです。

3組『丹波竜について』

5組『丹波竜の魅力』

6組『丹波竜を research』

1組2班『丹波竜の魅力を海外に発信しよう』

7班『丹波竜を目的として丹波市に観光に来てもらうには』

8班『丹波竜の魅力を伝え丹波市を活性化させよう』



▲発表の様子

講師の田中公教さん【丹波化石工房】からは、発表中に含まれていたい点について、具体例(実際のデータを収集している、設定した仮説から期待できる結果を明らかにして取り組んでいる、自分たちの提案のメリットだけでなくデメリットにも触れているなど)を挙げながら、多くの助言をいただきました。

次回(12月2日)に発表する班にも参考になることを何点か紹介…。

(1) 自分たちの想いを伝える相手を意識する

どうすれば想いが伝わるでしょうか。メモを見ない(読まない)、目配り、身振り手振り、スピード、姿勢など工夫できることはたくさんあります。どのような順番で資料を提示するかも大切です。

(2) 自分たちの意見と他からの情報を分けよう

いつの・誰からの情報なのかや、著作権、引用元を明らかにしておきましょう。Wikipedia には、本当ではない情報もあります。集めた情報の真偽について原典にあたることができるとよいですね。

(3) 専門用語やマジックワードに気を付けよう

その分野を知らない人が聞くこともあります。ルビをつけたり、説明を加えたりするとよいですね。

(4) 質問する

発表を聞く側の姿勢として、聞いていてわからなかったところや疑問に思ったこと、何でも聞いてみましょう。発表者にとっても、質問してもらうことでより良い発表へ繋げることができます。

(5) メモとっていますか(発表を聞いている最中、質問内容、頂いた講評などその場で書き残しておく)

要領が悪く「メモせずに内容や疑問・助言を覚えておく」なんてことはできない私(土元)は、メモが離せません。「あとでまとめよう」と考えていると、ヌケがあつたり間違った内容で覚えていたりする経験をたくさんしてきました。

その経験があるからメモするようになったのですが。

メモするって、ノートづくりや授業でも役に立つと思うのですが、みなさんはどうしていますか？



▲発表後、講師から講評を受けている様子